

令和5年度 事業報告

I 決算概要

	2023年度実績	2022年度実績	増減	前年比
経常収益計	36,877	38,070	-1,192	96.9%
経常費用計	32,588	40,235	-7,646	81.0%
当期純利益	5,767	-2,311	8,077	-
期末現預金	10,464	4,760	5,704	219.8%
館生数 (年平均)	35	41	-6	85.4%

*当期純利益＝経常収益－経常費用±経常外収支－法人税等

昨年度は満室41名の在館生にもかかわらず2,311千円の赤字を計上、今年度は34名と空室7のスタートとなり、法人存続に危機感をもって取組んで参りました。4月に入ってから直ちに実行計画を策定、役員・職員・館生が一体となって、収入増と経費削減に取り組みました。

その結果、館生減少により経常収益は前年割れとなったものの、大幅な経費削減(前年比-7,646千円)を実行し当期純利益については5,767千円(前年度は2,311千円の赤字)を達成することができました。期末現預金については前年比2.2倍増の10,464千円、当面の資金ショートを回避するに至りました。更に別勘定で積立している大規模修繕積立資産については、昨年までの年500千円から年1,500千円に増額することができました。

前年度との収支差異に影響した主な要因は下記のとおりです。

主なプラス要因

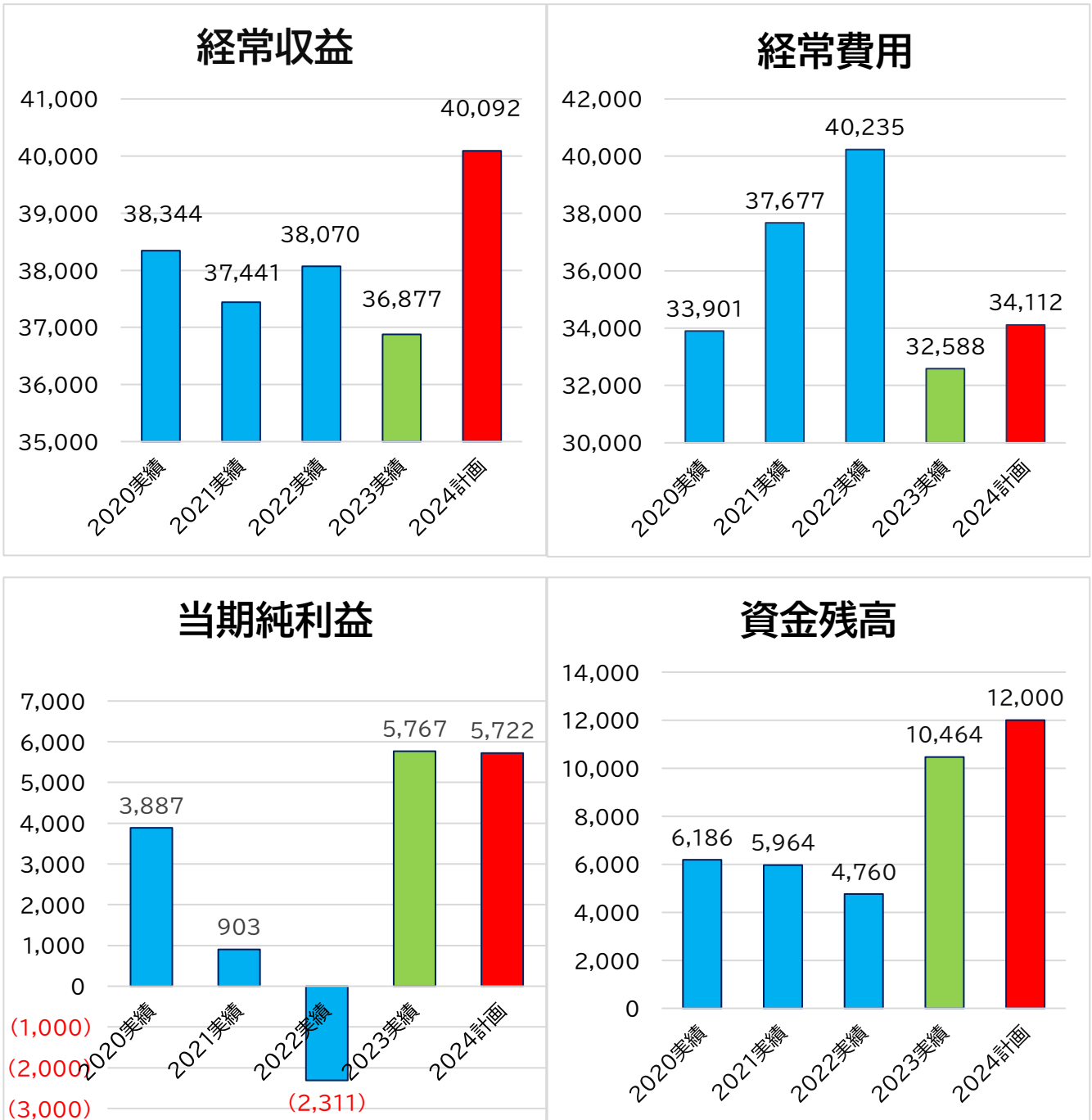
(単位：千円)

費目	内 容	金 額
館費	館費5千円値上げ(55千円から60千円)	2,110
給料手当/福利厚生	前事務局長の給与特例がなくなったため	2,004
光熱水料費	電気、ガス、水道全てにおいて削減が図れたため	1,778
維持管理修繕費	前年度はトイレ洗面の修理、庭木伐採などに多額の支出があったため	1,486
退職給付引当金戻入	就業規程改訂により退職金を減額したため	1,299
給食費	館生が減ったため	626
印刷製本費	ニュース校正を外部委託から内生に変更(2022夏号1回分のみ影響)	459
駐車場事業	新規契約が取れ空車率が下がったため	384
営業外収入	調布市から物価高騰支援補助金	300

主なマイナス要因

費目	内 容	金 額
館費	館生が減ったため(月平均昨年41名から今年35名)の減少額	-3,778
育英事業協力金	卒館生からの協力金が減少傾向にあるため	-279

(2020 年度実績～2024 年度計画／単位：千円)



Ⅱ 公益目的事業

a. リクルート活動

今年度の新入館生は 4 名、34 名のスタートとなったため財政上も重大な懸念を抱えることになりました。その反省から在館生及び保護者による出身高校及び予備校訪問、募集時期を早めたこと、オンライン面接に変更したことなどが功を奏し、19 名の新入館生を迎え 40 名満室（新年度より満室は 40 室）での順調なスタートとなりました。

b. 施設の維持管理

① 改築後 20 年を迎え、大規模修繕工事を実施しました。屋根の防水工事、厨房機器/換気扇の買替など計 3,344 千円を大規模修繕工事積立資産より充当致しました。

② 週3回の日常清掃をシルバー人材センターの派遣から、プロの清掃業者に変更しました。細部に行き渡った清掃をして頂き、より清潔な生活環境を提供できるようになりました。

Ⅲ行事その他

今年度実施した主な行事は次の通りです。

- 6月 オープンセミナー 講師 飯島春光先生 「君は満州へ行くか」-満州移民の歴史を学ぶ-
- 7月 郷友会ニュース夏号発行
- 8月 夏季大会（保護者懇談会、総会、講演会、懇親会）
- 10月 記念祭/秋季大会
新ホームページ開設
- 12月 郷友会ニュース冬号発行

Ⅳ収益事業

a. 駐車場事業

年度初め31台が年度末にかけて解約があり29台、空きは6台となりました。

収益は7,219千円（前年度6,835千円）と前年比105.6%の実績でした。

b. 太陽光発電

売電収入が2022年夏以降従来の70%程度まで落ち込んでおり、設置以来メンテナンスしていないため発電効率の低下が考えられました。岡谷酸素に原因究明を依頼したところ、パワーコンディショナー4台のうち1台が故障していたため、5月に部品交換修理を実施しました。その結果収益は968千円（前年度805千円）前年比120.3%と好調でした。

Ⅴ法人管理

a. 役員人事

8月に原孝氏が理事に就任しました。現在、理事長1名、副理事長1名、理事6名（常務理事2名含む）の計8名体制です。（定款では理事6名以上10名以内、うち常務理事5名以内）

b. 新事務局長就任

4月に岡山雅人氏が新たに事務局長に就任しました。前任の武井伸吉氏には6年9か月事務局長を勤めて頂きました。

c. 東京都立入検査

10月に東京都の立入検査が実施されました。指摘事項が前回の12項目から軽微な2項目へと大幅な改善が見られました。